



# チーム TEAM ひらきた 平北

加古川市立平岡北小学校  
校長 衣川 公彦  
No. 16 (不定期発行)  
2024. 1. 23 発行

平岡北小学校だより

## 【 1. 17 追悼集会 】

1. 17 追悼集会を行いました。その時、児童の皆さんに伝えたことを振り返りたいと思います。今から 29 年前の 1995 年 1 月 17 日午前 5 時 46 分、兵庫県南部で大変大きな地震がありました。この地震のために、6434 人の方が亡くなりました。

まず初めに、その時に作られた「しあわせ運べるように」を心を込めて歌いました。そのあと、亡くなられた方へどうか安らかに眠ってください、とみんなで黙とうをささげました。

今日、追悼集会を行うことには、2つの大きな意味があることを伝えましたね。

一つは、このような大きな地震が発生した時、過去の災害を振り返ることで落ち着いて行動し、「自分の命を自分で守ることのできる人」になろう、という勉強の機会とすることです。

もう一つは、人々の絆を語り継いでいこうということです。絆とは、人と人の結びつきという意味で、そこから優しさや思いやりが生まれてきます。この言葉は、阪神淡路大震災や東日本大震災の時に日本中にあふれました。これから、どのような災害がみんなに襲いかかるか分かりません。今できることはなにか。そのときどうしたらいいのか。普段の絆が、災害時にお互いを助け合う行動に現れてきます。人と人のつながりを大切にしましょう。この機会に、もう一度、お家で、今日学んだこと、すでに決めている約束事を確認してください。

そして、学校では困っている友達がいたら、「大丈夫？」と、そっと手をさしのべたり、勉強やスポーツなど、今、自分ができることを一生懸命頑張ったりするなど「命が喜ぶ生き方」を実践できる人になってほしいと思います。

## 【大谷翔平選手からグローブのプレゼント届く】



保護者のみなさま、3学期がスタートして2週間が経ちました。子どもたちが楽しみにしていた大谷選手からのプレゼントのグローブが届き、リモート朝会で紹介すると大きな歓声が聞こえてきました。6年生から1日ごとに1クラスずつ回していますので全児童が実際に手にするまでは少し時間がかかりますがご理解のほどよろしくお願いいたします。また、2月15日(木)の参観日には体育館の作品展にてグローブも展示しますのでご覧いただいたらと思います。

## 【大谷翔平選手からのお手紙紹介】

学校関係者各位

貴校ますますご清栄の事とお慶び申し上げます。

ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムをご紹介するためのものです。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。

それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。  
貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。

大谷翔平

この手紙に込められた意味について校長先生が感じたことは次のように児童のみんなに伝えましたね。

「平北の児童のみんな、自分に合った好きなことを見つけよう。スポーツでも、芸術でもなんでもいいよ。そして好きなことが見つければ全力で打ち込んで取り組もう。児童皆さん一人一人の可能性は、無限大だ。ぼくが野球に出会って今があるように、みんなも好きなものに出会って未来を切り拓こう。このグローブを見て、使ってくれたみんなが勇気をもって夢に挑戦し、グローバルな世界で夢をつかめることを応援しているぜ。」

と言ってくれているように感じました。

みんなでこのグローブを大切に使っていきましょう。そして大谷選手の言葉を忘れずに夢に向かってチャレンジしていきましょう。